意見発表

香川県観音寺市長

佐伯明浩

全国大会実行委員会副委員長



本日は、第76回全国大会に、全国からここ香川県にお越しいただき誠にありがとうございます。意見発表の前に少しだけ観音寺市のPRをさせていただければと思います。

観音寺市は、香川県の1番西の端にありまして、人口が約5万5000人の小さな町でございます。しかしながら、元内閣総理大臣の大平正芳先生の出身地でもあり、そして、四国のちょうど真ん中辺にありますので、四国4県の県庁所在地に1時間前後で行けるという非常に利便性のいい町でございます。

そして、目の前には瀬戸内海があり、燧灘の沖には伊吹島という島がありまして、昔からカタクチイワシ、そして全国でも有名な天空の鳥居がございます。

そういうところでございまして、あわせて今、中四国最大級の道の駅の整備を着実に進めております。国土交通省が推進しております第3世代の道の駅、しっかりと整備していきたいと思っておる次第でございますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

それでは、観音寺市の道路ネットワークおよび交流拠点の整備についてお話をさせていただきます。

香川県を東西につなぐ、高速道路である高松自動車道におきまして、市内で2つ目のインターチェンジとなる観音寺スマートインターチェンジが本年7月に供用開始となりました。この開通により観音寺市中心市街地と高速道路とのアクセス性が向上したのはもちろんのことでございますが、道路利用者の利便性が高まることで、観音寺港などの沿岸部の工業団地等への輸送コストの削減、企業誘致の促進、先ほど申しました銭形砂絵、寛永通宝などの周辺観光施設への誘客など、観光・産業振興による地域経済の活性化に大きく貢献し、観音寺市のみならず香川県全体の産業・観光振興に大きな発展をもたらすものと大変期待をしている次第でございます。

あわせまして、本市では地域活性化と防災拠点となる、先ほどお話しさせていただきました新たな道の駅「かんおんじ（仮称）」の整備を進めております。中四国最大級の規模を目指すこの道の駅は、地場産品の販売や観光情報の発信はもちろんのこと、幹線道路ネットワークと連携することで、四国内外からの広域的な人流と物流を呼び込み、地域経済の好循環を生み出すゲートウェイとなるものでございます。

加えまして災害発生時には、四国の防災拠点として広い駐車場を生かして警察、自衛隊、医療関係者の被災地への出動拠点として活用を考えており、緊急用ヘリコプターの離発着も可能となっております。

国土交通省をはじめ関係機関の皆様による力強い事業推進とご指導に、心より深く感謝を申し上げる次第でございます。

地方が持続可能な発展を遂げるためには、信頼性の高い道路ネットワークと地域の交流拠点の確立が不可欠であります。

平時における円滑な経済活動の基盤としてはもちろんのこと、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時における緊急輸送道路やダブルネットワークとしての命の道の確保は、地域住民の生命と暮らしを守る死活問題でございます。

道路が当たり前につながり機能することの重要性を胸に刻み、市民の皆様と共に観音寺スマートインターチェンジを核とした道路交通機能の強化と、道の駅「かんおんじ（仮称）」などの交流拠点を起点として道路網整備が強力に推進されることを強く願っております。

地方というのは言うまでもなく、人口減少、少子高齢化の荒波が押し寄せてきております。これを自然現象だからといって受け入れていってはいけません。やはり戦いながら、挑戦しながら、抗いながら前に進めて行かなければなりません。そのためにも地方の道路整備は絶対必要ではないかと思っております。

地方の道路整備をするためには、命の道をしっかりと整備していくことが重要ではないかと思っております。

全国道路利用者会議の皆様方のそれぞれの地域の方々が将来に向かって夢や希望、誇りを持ってロマンが語れるような、ワクワク・ドキドキできるような道づくりをこれからも一緒になって前に進めていきたいと思っております。一致団結して未来に投資をしながら、しっかりと道路整備、命の道を皆様と共に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げまして、私の意見発表に代えさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

来賓紹介

【国土交通省】

和田卓大臣官房審議官、奥田晃久四国地方整備局長

【香川県】

池田豊人香川県知事、氏家孝志香川県議会議長、小泉誠高松市副市長、川池秀文香川県議会環境建設委員会副委員長

【友誼団体】

石井敏行（一社）日本道路建設業協会会長

【高速道路株式会社】

芝村善治西日本高速道路㈱代表取締役社長、宮野敏雄東日本高速道路㈱建設事業本部建設部長、宮西洋幸中日本高速道路㈱建設企画本部建設企画部長、尊鉢丈裕首都高速道路㈱計画・環境部長、東川直正阪神高速道路㈱取締役兼常務執行役員、松浦利之本州四国連絡高速道路㈱取締役常務執行役員

【国会議員・代理】

《衆議院議員》

大野敬太郎、小川淳也、瀬戸隆一、玉木雄一郎、平井卓也

《参議院議員》

磯﨑仁彦、原田秀一

【祝電】

《衆議院議員》

大野敬太郎、小川淳也、瀬戸隆一、玉木雄一郎、中山展宏、平井卓也

《参議院議員》

磯﨑仁彦、見坂茂範、原田秀一

（敬称略）

役員の一部改選

〔新選出理事〕

宮城県・水野敏秀
山形県・小松洋一
新潟県・星野佳人
富山県・田中幹夫
静岡県・市川　照
愛知県・久野美穂
福井県・田中　森
大阪府・牛島憲人
奈良県・田中耕造
長崎県・鈴木史朗
熊本県・馬場昭治

〔新指名常任理事〕

富山県・田中幹夫
静岡県・市川　照
奈良県・田中耕造
長崎県・鈴木史朗
熊本県・馬場昭治

（敬称略）

主張

国道制度創設150周年

令和8年（2026年）は、日本の国道制度が誕生してから150周年という大きな節目の年である。国道制度は、明治9年（1876年）に道路が「国道」など3種類に区分されたことに始まり、その後150年にわたり、人々の暮らしや経済活動を支える重要な社会基盤として発展してきた。

私たちは毎日の生活の中で、通勤や通学、買い物、旅行など、さまざまな場面で道路を利用している。しかし、道路の大切さを普段から意識する機会はそれほど多くないかもしれない。道路は地域と地域を結び、人と人との交流を支え、暮らしや産業を支える欠かせない存在である。インターネットで注文した商品が自宅まで届けられるのも、国道をはじめとした全国に整備された道路網があるからこそである。

この150年を振り返ると、山や川が多く、自然条件の厳しい我が国において、多くの先人たちの努力によって道路整備が進められてきた。その結果、移動時間が短縮し、より安全で快適に移動できるようになり、地域の発展や暮らしの向上にもつながってきた。今では当たり前に利用している道路は、長い年月をかけて築かれてきた大切な財産だ。

一方で、道路を取り巻く環境は大きく変化している。人口減少や少子高齢化が進むなか、高度経済成長期に整備された橋やトンネルなどの老朽化が進み、適切な点検や維持管理が重要な課題となっている。また、近年は異常な降雨量など自然災害の激甚化・頻発化への対応に加え、環境への配慮や自動運転などの新しい技術への対応も求められている。

国道制度創設150周年は、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの道路の役割や在り方について考える良い機会である。現代は、将来の見通しが難しい時代と言われているが、道路は人々の暮らしや経済活動を支える重要な社会基盤であり、その重要性は今後も変わることはない。時代の変化や新たな課題に柔軟に対応しながら、我が国の社会経済活動の安定と発展を支え続けることを期待したい。

講演会



さぬきうどんブームへの道のり

田尾和俊

四国学院大学教授

ETC車載器購入助成キャンペーン2026

阪神高速道路株式会社は、ETCの更なる普及促進を図るため、令和8年11月11日（水）から対象車1台につき、最大10,000円を助成する「ETC車載器購入助成キャンペーン2026」を実施している。

《キャンペーン期間》

令和8年11月11日（水）～助成台数に達するまで

※最長で令和9年3月31日（水）まで実施する。

《助成台数》

15,000台

《対象地域》

大阪府、兵庫県

《助成金額》

最大10,000円／台（車載器本体・セットアップ費用・取付費用が対象となる。）

《助成対象要件》

▽新セキュリティ規格に対応した車載器のみ助成対象となる。

▽ETCまたはETC2.0車載器を新規に取り付けされる方が助成対象となる。

▽ETC車載器の買い替えは助成対象とならない。

▽四輪車の新車は助成対象とならない（キャンペーン申込時に車検証の初度登録年月（初度検査年月）から6か月以上経過している車両が助成対象となる）。

▽二輪車の新車は助成対象となる。

▽大阪府・兵庫県エリアのキャンペーン取扱店舗にて、購入・セットアップ・取り付けを行った方が助成対象となる。

▽キャンペーン期間外に購入・セットアップ・取り付け後の申し込みは助成対象とならない。

▽他のETC車載器購入助成を受けた車両は助成対象とならない。

《申請方法》

キャンペーン取扱店舗にてスマートフォン等から専用の「WEB申込フォーム」に必要事項を記入のうえ、車載器を新規に購入・セットアップ・取り付けを行う。

《問い合わせ先》
大阪・兵庫ETCキャンペーン2026事務局
TEL：0570-001-337
受付時間：9:30～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）
キャンペーンサイト
https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/ryoukin/etc/cp2026/

高速道路の通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇東北中央自動車道　かみのやま温泉IC～山形上山IC（上下線）
12月1日（火）～12月2日（水）　各日20:00～翌6:00

◇東北中央自動車道　南陽高畠IC～かみのやま温泉IC（上下線）
12月7日（月）～12月9日（水）　各日20:00～翌6:00

◇常磐自動車道　広野IC～南相馬IC（上下線）
12月1日（火）～12月17日（木）　各日20:00～翌5:00（土日除く）

◇近畿自動車道　摂津北IC　出入口
11月27日（金）20:00～11月30日（月）5:00
12月4日（金）20:00～12月7日（月）5:00

【工事規制】

◇第二京阪道路　京田辺PA（上り線）駐車場の一部
11月30日（月）20:00～12月2日（水）20:00

【リニューアル工事】

◇沖縄自動車道　宜野座IC～許田IC
令和9年1月6日（水）～令和9年3月31日（水）　終日